

**【SⅡ-2】 海洋プラスチックごみに係る動態・環境影響の体系的解明と計測手法の高度化に係る研究  
(2018～2020)**

研究代表者 磯辺 篤彦 (九州大学)

**1. 委員の指摘及び提言概要**

統括的マネジメントの下で、各テーマが計画通り進捗し、モデルも世界に先駆けたものになっているほか、生物影響についても新しい事実が出ている。今後は、テーマを繋いだ統合的成果にも期待する。具体的には、数値シミュレーションとフィールドの場を結びつけることや、ネットの現況のために 300  $\mu\text{m}$  以下の粒子を missing plastic としているところを、テーマ2の研究とも整合させることでより微細な粒子の評価を行うこと等である。海洋生態系への影響評価をベースとして行政とタイアップしながら、成果の海外での認知に向けて努めていただきたい。

**2. 評点**

総合評点：A